

よつくら通信

文責；いわき市立四倉小学校長 小川幸一

四倉・久之浜方部PTA連絡協議会並びに 四倉・久之浜、小川・川前方部母親委員会教育講演会より 演題 「子どもの成長と親のかかわり」

10日(土)、大野中学校において四倉・久之浜方部PTA連絡協議会並びに四倉・久之浜、小川川前方部母親委員会の教育講演会が開かれました。講師の先生は、福島県教育庁いわき教育事務所所属のスクールソーシャルワーカー(SSW)の小野寺典子先生です。SSWとは、いじめや不登校、虐待や発達障害などの何らかの悩みを持っている子どもとその家族を支えるための専門職です。小野寺先生は、これまで携わってきた多くの事例の中から、最近増えている反応性愛着障害をひとつの例として取り上げ「子どもの成長と親のかかわり」についてお話しされました。私も約40年に及ぶ教職経験から、共感できることが多かったので要点だけご紹介します。

まず、「反応性愛着障害」とは、乳幼児とその親などの限られた養育者との間で形成されていく絆がうまく形成されないことによる反応や行動で、①恐怖心や警戒心が強い ②友達との交流が少ない ③自分や他人への攻撃性が高い ④感情が偏っている、激しいなどの特徴を伴います。

愛着は2～3歳ごろまでに形成されますが、愛着形成がしっかり行なわれると ①自分に自信を持って行動ができる ②人を信じて行動ができる ③相手の価値観や考え方を理解でき共感できる ④自分を律することができる ⑤自己肯定感が高まると言われています。逆に不十分であると、①自分に自身がなく、消極的だったり新しいことをやりたがらなかったりする ②無力感、無気力感を感じやすくなる ③人を信じられないので頼ることができない ④相手の価値観や考え方を受け入れられない ⑤心のよりどころを求め、何かに依存しやすい依存体質になる ⑥自己肯定感が低い というように陥るそうです。

愛着障害の原因としては養育者との死別、離別や他の子どもとの差別的扱いなどがあげられますが、最近の多くは親から子への暴力等の肉体的虐待、養育放棄や放任などのネグレクト、暴言や両親間のDV目撃などの精神的虐待によるものだそうです。事実、新聞やニュースで、しつけと称した子への虐待報道をよく耳にします。

それでは、子どもの成長に合わせてどのように親が子どもと関わっていけばよいのか。小野寺先生は次のようにお話しされました

- 3～6歳は、「ごっこ遊び」から「集団遊び」へ移行する時期なので、「やった!」「できた!」という気持ちを増やしたり、子どもの気持ちを言葉で代弁する働きかけが大切。
- 7～9歳は、万能感にあふれ、親の言葉にも素直なので、子どもの気持ちを受け止め、共感した上で解決のヒントを与えてやるのが大切。
- 10～12歳は、本音と建前を理解したり性差が顕著となる時期なので、親子の距離は離れても見守る姿勢は忘れないのが大切。

最後に、「心のしなやかさを育てるために親が心がけたいこと」として、①子どもだけでなく親自身も、心が豊かになるような体験を重ね、幸せな感情を積み重ねる ②「うれしい!」「楽しい!」と思える時間の共有 を訴えておられました。子どもの自立は親のゆるぎない愛情と支えが欠かせません。しかし、過干渉は自立を妨げます。子育ては親としての永遠の課題ですね。

1 2 月 の 行 事

4日(火) 集金日 (低)
5日(水) お弁当の日 集金日 (中)
3年軽量出前講座 5年スチューデントシティ
 6日(木) 集金日 (高) 個別面談 下校 13:45
 7日(金) 個別面談 下校 13:45
 10日(月) 個別面談 下校 13:45
～1/7 年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動
 11日(火) 2年図書館へ行こう
 個別面談 下校 13:45

12日(水) 個別面談 下校 13:45
 13日(木) 登校班話合い 図書ボ読み聞かせ会
 20日(木) 図書ボ読み聞かせ会
 21日(金) 第2学期終業式 下校 11:30
23日(日) 天皇誕生日
24日(月) 冬休み (～1月7日)
 27日(木) 土曜学習(書き初め、もちつき)
 29日(土)～1月3日(木) 学校閉庁日
年末年始休日

＜心の教育相談員来校日＞

4・10・12・17・19日

＜学校司書来校日＞

6・13・14・19日

3 年 生 笠 踊 り の 学 習

13日(火)、3年生の総合的な学習の時間において四倉町の昔から伝わる文化を学ぶ学習とをしました。四倉町笠踊り保存会の4名の皆さんが来校し、子どもでも比較的容易に覚えることのできる笠踊りを披露し、その後子ども達も一緒に踊り笠踊りを体験しました。

笠踊りは八木節を基に創られ、その昔漁師が海で災難に会った家族を慰めるために踊られるようになったといふことす。

海の町ならではの文化です。子ども達にも伝統を理解し郷土を愛してほしいと願います。



校 内 持 久 走 記 録 会

26日(月)に、校内持久走記録会が行われました。本来は22日だったのですが当日の雨でグラウンド状態が悪かったため延期になりました。3連休明けの記録会だったので子ども達の体調が心配されましたが、朝の体力づくりの運動から元気に取り組み、体調を本番に合わせる事ができたようです。しかし、寒くなってきたためか風邪をひく子どもが増えており、欠席や見学で参加できなかった子どもがいたのが残念でした。

それでも、これまでより好タイムを記録できたようで満足気でした。



が ん ば り や さ ん を 紹 介 し ま す

本校では、生活リズムを整えることと体力向上を目的として毎朝持久走と短距離走、障害走、ゴム跳びの運動に取り組んでいます。登校するとすぐに学習用具の整理と着替え、委員会活等の仕事を済ませてすぐに運動に取り組むことになっています。



多くの子どもが朝のノルマを果たすべくがんばっていますが、日によっては運動に気持ちが乗らなかったり、おしゃべりで着替えなどに時間がかかったりして校庭に出てくるのが遅くなることがあります。しかし、5年生のM・Hさん、6年生のM・Sさん、K・Aさん、N・Kさんの4名は、毎朝真っ先に校庭に出てきてはひたすらに運動に取り組んでいます。そして一通りの運動を終えるとすぐに次の活動に取り掛かります。その誠実さ、主体性、計画性に感心します。「努力に勝る天才はなし」そんな人にと願っています。